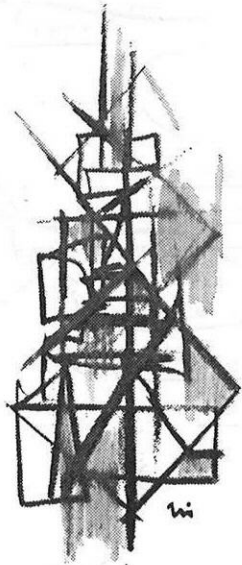


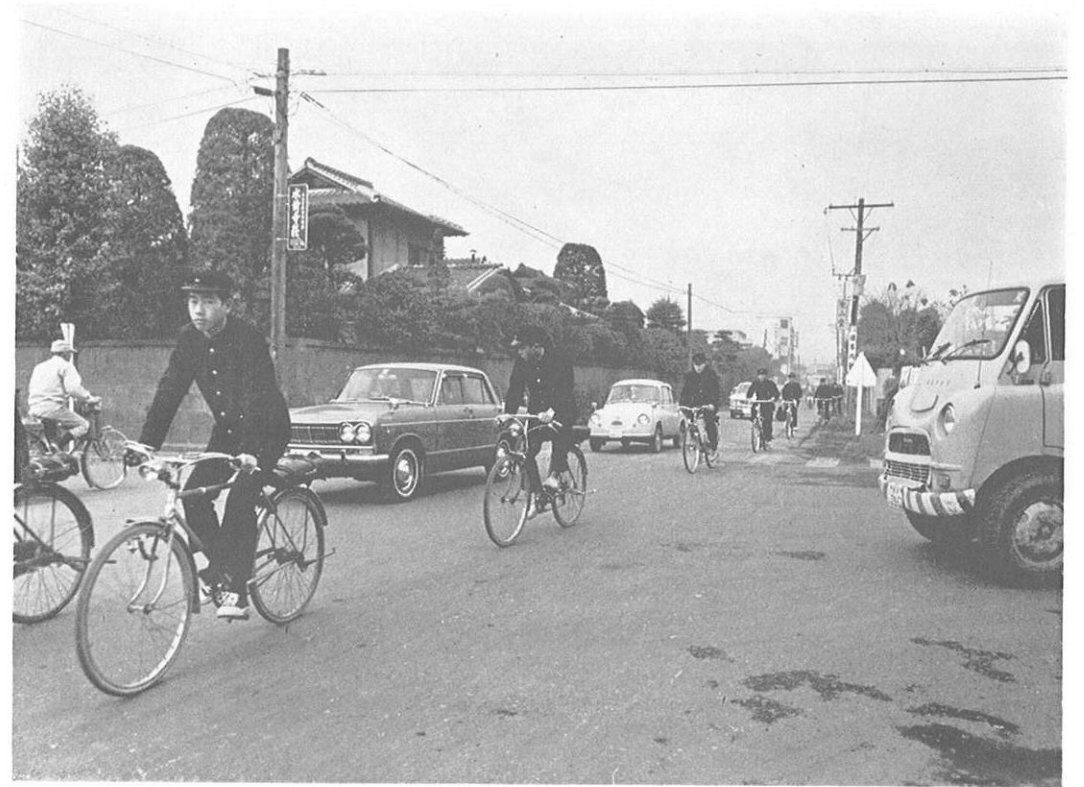
豊かな住みよい郷土を建設することは県民のひとしく求めてやまない願いです。この願いを実現するため、県全体の進むべき方向を指し示すのが「県計画」ですが、この県計画をカナメとして農業にせよ工業にせよ、あらゆる面で熊本県ではいろいろな新しい仕事が行なわれ、また計画されています。新しい時代を迎えた熊本県の姿をごらんいただき明日の郷土をきずくために皆さん方のご協力を心からお願い申し上げます。



広報くまもと 1967 No.207

目次

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 九州縦貫自動車道の建設……………5 | <input type="checkbox"/> 菊池台地の農業開発……………23 |
| <input type="checkbox"/> 鹿児島本線の複線化電化……………7 | <input type="checkbox"/> 阿蘇地域の大規模草地改良……………26 |
| <input type="checkbox"/> 新熊本空港の建設……………10 | <input type="checkbox"/> 主要林道網の整備……………29 |
| <input type="checkbox"/> 城北開発横断道路の整備……………13 | <input type="checkbox"/> 八代臨海工業地帯の整備……………31 |
| <input type="checkbox"/> 主要道路網の整備……………15 | <input type="checkbox"/> 氷川の総合開発……………35 |
| <input type="checkbox"/> 天草農業経済圏の整備……………19 | <input type="checkbox"/> 不知火海干拓……………37 |



ゼロの日のための願い <その8>

自転車は語る

「どうぞ安全な乗り方で願いますヨッ」と、わたしを使用する方には声をかけています。『今さらそんな』とお考えの方がおられたらそれは大変な思い違いというものです。

昭和41年中に交通事故で死傷した幼児児童は1,374人(死者34人)で、これは全死傷者の18.2%に当り、さらに自転車に乗車中が284人(9人)で20.7%となっているからです。そのうえ住宅が郊外へと伸びるので自転車通学や、お使いに行くことも多くなりました。

こどもにせがまれて自転車を買ってやるときに、身体にあった自転車を選び、正しい乗り方や交通のルールを教えたり、自転車の点検などをよくしてあげている保護者は非常に少ないのです。

提言

〔安全運転12章〕 ①右、左曲りの合図以外は手放し片手運転は危険②前後左右に気をくばる③ズボンのスツは細くしぼる④二人乗りはしない⑤降り坂はスピードは控えめに⑥サンダル、ゲタばきはやめる⑦傘さし運転はしない⑧カバンは必ず荷台に⑨ハンドルに荷物はさげない⑩一列に、そして二車身の間隔を⑪自動車、単車につかまっては走らない⑫相手がよける、止まるだろうは事故のもと。

…あなたの安全は、あなた自身にあることを忘れず、自らを守ることをお子さんにくり返し毎日教えてあげてください。